

言語・コミュニケーション

ゆっくりと話しかけ、表情や身体の些細なサインを見逃さず待ちます。気持ちを推測し、スタッフが言葉で表すことで気持ちを共有します。また、活動や行動を起こす際は、必ず本人の意思を確認し、意思を尊重した関わりを行います。

毎日、朗読や絵本の読み聞かせを取り入れ、聞く力や言葉の発達、感情表現する力を促します。

運動・感覚

音楽遊びを通し、タッチングや身体の部位を歌いかけながら触れることによりボディーイメージを高められるよう支援します。また、光遊びやゲーム、冷温感覚遊びにて五感を刺激する活動を取り入れます。その他、療法士との体操で個々の成長に応じた姿勢や体位、マッサージ方法を学び運動発達を促す活動を過ごす中で取り入れます。

国立病院機構 南九州病院

通所すまいる

★児童発達支援

★放課後等デイサービス

★生活介護



通所すまいるは、

★小学校入学までの児童発達支援

★小学校から高校までの放課後等デイサービス

★高校卒業からの生活介護の重症心身障害児(者)の方々が対象です。

異年齢の方々が医療ケアと日中活動が一体となった環境で楽しく過ごしながらか5領域より個々の発達を促すことができるよう活動を行います。

健康・生活

家庭での生活リズムや健康状態に配慮し、食事・睡眠・排泄や清潔など、医師・看護師・療法士・栄養士・保育士のチームでサポートします。食事は、個々に合わせ楽しい雰囲気や集中した環境づくりに配慮します。睡眠では、リラックスした環境、排泄では、適宜の声掛けやトイレ誘導、おむつ交換を行い、皮膚トラブルや清潔に配慮します。

人間関係・社会性

年齢の垣根を超え発達段階の異なる仲間と交流ができる場です。年上の方が小さい子のお手本となり、優しく見守り、小さい子が年上の方を真似、遊びや活動を通して人と関わり合い、ともに学びあえる環境を提供します。

認知・行動

個々に合わせ、どのような方法や環境の設定であれば円滑に生活スキルを身に着け、快適に過ごすことができるのかをチームで模索、検討しながら支援します。苦手なことでも少し頑張ることで「できた」という自信や次への意欲へ繋げていけるよう喜びを共有します。

是院 病む人に学ぶ



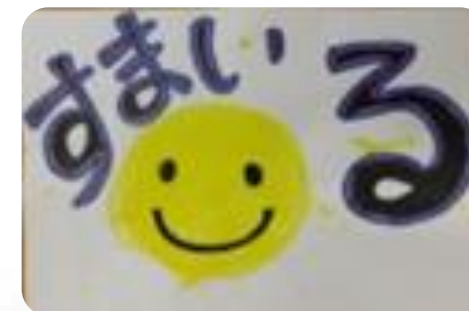
支援方針

在宅の重症心身障害児(者)の方々が、地域で家族と一緒により良い暮らしができることを目的としています。医療的ケアと日中活動が一体となった環境で、楽しい集団生活を通して、個々の発達を促すことができるよう活動を行います。

開設日時

原則月曜日から金曜日の毎日(祝日と年末年始は除く)9:30～15:30
当日欠席される場合は、8:30～9:00までに「通所すまいる」担当者にご連絡ください。

送迎はしておりません



移行支援

幼稚園・保育園・こども園・就学など子供の成長に合わせ、本人が新しい環境で安心して楽しく過ごせるよう会議に参加し情報提供を行います。

職員の質の向上

院内研修や外部研修に参加し、職員への伝達・情報共有を行います。

家族支援

家庭の生活に沿った支援を行うため、ご家族と密に情報共有を行います。また、リハビリや看護師と連携し発達段階に応じて必要な助言やきょうだい、福祉などの相談に応じます。

主な行事

節分、ひな祭り、七夕、端午の節句、きらきら水族館、十五夜、ハロウィン、クリスマスなど季節折々の行事のほか、外出活動

地域支援・地域連携

モニタリングや支援会議に参加し、関係する事業所との情報共有を行います。